資料３

次期あいち山村振興ビジョン骨子案

２０２５年６月
愛知県総務局総務部
市町村課地域振興室

1　はじめに

愛知県の三河山間地域

○　三河山間地域は**愛知県の面積の約３分の１**を占め、その内、森林面積は86%にのぼり、自然環境が豊かな地域である。

○　この地域は、**水源のかん養、自然災害の防止、自然環境・生物多様性の保全、地球温暖化の防止などの多面的機能を持つことから、都市部地域を含めた県全体を支える重要な役割**を担っている。

このため、**この地域が元気で豊か**であることが**愛知県の発展にとって極めて重要**である。

※　愛知県の三河山間地域とは、次の６つの市町村にまたがる山村地域の総称
岡崎市（額田地区）、豊田市（旭、足助、稲武、小原、下山、藤岡の各地区）、
新城市、設楽町、東栄町、豊根村

1　はじめに

次期あいち山村振興ビジョンの策定趣旨

【趣旨】

現行の「あいち山村振興ビジョン2025」の計画期間が2025年度に終了することから、**新たに三河山間地域の振興について、中期的な目標、考え方を示す**とともに、その実現に向けた**重点的な取組の方向性を定める。**

【性格】

県が重点的に取り組むべき政策の方向性を示した**「あいちビジョン2030」に基づく三河山間地域を対象とした個別計画**

【計画期間】

2040年頃の地域の姿を展望し、**2026年度から2030年度まで**を計画期間とする。

山村振興に関するビジョンの策定状況

策定時期	名　　称	計画期間
2009年３月	あいち山村振興ビジョン ～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築～	2009～2015年度 （７年間）
2016年２月	あいち山村振興ビジョン２０２０ ～「やま・ひと・なりわい」を継承し、未来を創る～	2016～2020年度 （５年間）
2020年12月	あいち山村振興ビジョン２０２５ ～「くらし」・「人」・「しごと」を未来へつなぐ～	2021～2025年度 （５年間）

2　あいち山村振興ビジョン２０２５の概要

名称　あいち山村振興ビジョン２０２５
～「くらし」・「ひと」・「しごと」を未来へつなぐ～

計画期間　2021～2025年度（５年間）

基本目標

環境変化に柔軟に対応する元気で豊かなあいちの山里
～安全安心な生活と活力の維持向上～

取組の視点

① 安全安心に住み続けられる地域づくり
② 住みたくなる地域づくり
③ 地域経済の循環が促進される地域づくり
④ ＳＤＧｓの理念を踏まえた持続可能な地域づくり

重点的取組事項（５つの取組の柱）　※　個別の取組事項：77項目、進捗管理指標：19項目

柱１　安全安心で持続可能な地域社会づくり

取組の方向

◆　生活に欠かせない道路網の整備・バス路線の確保を始め、情報通信基盤の拡充、森林・農地等の保全・整備、保健医療福祉サービスなどの生活基盤の維持・拡充を行う。

◆　感染症や南海トラフ地震、気候変動の影響により大型化した台風、大雨等の影響による災害への対応の充実を図る。

主要な取組

○持続可能な行財政基盤の確立
○地域の実情にあった公共交通の維持・確保への支援
○社会資本整備等に対する支援
○５Ｇへの対応を含む情報通信基盤の拡充・活用

【進捗管理指標】
・公共交通の主な改善件数　・道路供用延長
・森林の保全整備面積　・農地の保全整備面積
・三河山間地域の人口

柱２　関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成

取組の方向

◆　高齢化による地域の担い手不足が進む中で、首都圏等都市部在住者の地方への関心が高まっている状況を活かし、都市部在住者の移住や関係人口の創出・拡大により、都市との絆を深める。

◆　地域に根差した教育環境を整備することで、将来的な地域の担い手を育成する。

主要な取組

○外部人材を受け入れることができる地域づくり
○首都圏等での移住相談窓口機能の設置
○オンラインでの情報発信手法の強化・充実
○県立高等学校の魅力化

【進捗管理指標】
・外部人材の交流支援数　・移住者数
・移住相談者数　・地域協働を行う県立高校数

2　あいち山村振興ビジョン２０２５の概要

柱３　なりわいを育てる

取組の方向

◆　高齢化による廃業が進むことによる地域経済の縮小を防ぐため、事業承継や移住者による継業を推進するとともに、ＵＩＪターンをされた方の定住を支援する。

◆　地場産業である農林水産業等の担い手の確保や、地域に必要な「なりわい」の担い手を育てる。

主要な取組

○なりわいを生み出す拠点（サテライトオフィス）の設置
○既存組織との連携によるなりわい支援の仕組づくり
○農林水産業の担い手確保・育成

【進捗管理指標】
・就業支援者数　　・新規就農者数
・新規林業就業者数　　・サテライトオフィス整備支援数

柱４　地域資源のさらなる磨き上げ

取組の方向

◆　リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通や設楽ダムの完成を見据え、地域に数ある道の駅を核とし、県や市町村の境界を越えた広域観光ネットワークを構築する。

◆　歴史、産業、自然、文化、スポーツなど、それぞれの地域に根差した地域資源をテーマごとに深掘りした上で、広域的な連携に取り組む。

主要な取組

○人やストーリーに着目した情報発信方法の強化・充実
○地域資源の着地型観光プログラム化の推進
○愛知産ジビエ等の利用推進

【進捗管理指標】
・観光レクリエーション利用者数
・愛知産ジビエを活用した新商品数　・スポーツ大会数

柱５　新たなライフスタイルへの対応

取組の方向

◆　新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい生活様式への対応により注目されている、テレワークやワーケーションの促進を図る。

◆　新たなモビリティサービスの導入やドローンを活用した物流促進など、新しい技術を活用することで、これまでにない山間地域での暮らしのあり方を確立する。

主要な取組

○テレワークやワーケーションの促進・誘致
○空き家・空き地の流通促進
○新たなモビリティサービスやドローンなどの新技術の導入支援

【進捗管理指標】
・主なリモートワーク可能施設数　・リモートワーク実証実験数
・空き家・空き地調査件数

地域別の方向性

額田地域	アクセス性の向上による都市部との結びつきの強化を活かす施策を展開
豊田加茂地域	二地域居住・ＵＩＪターン促進や新しい人の流れを取り込む施策を展開
新城地域	交通ネットワークの拡充や広域観光ネットワークを活かした施策を展開
北設楽地域	事業承継や地域資源を活用した起業支援、広域的施策を展開

3 あいち山村振興ビジョン２０２５の取組実績

○ **ビジョン全体の進捗**は**概ね順調**であり、**19項目の進捗管理指標**のうち、**７項目**については**目標を達成（◎）**し、**７項目**については**順調に推移（○）**している。それら以外の**５項目**については**最終年度においても着実に取組の進捗**を図っていく。

【◎：目標を達成、○：順調に推移】

進捗管理指標の状況

※は2023実績（参考値）

重点的取組事項	指標	2024実績	2025目標値
柱１ 安全安心で持続可能な地域社会づくり	**公共交通の主な改善件数（累計）**	**２６件 ◎**	１０件
	道路供用延長（累計）	４．７km	２０．７km
	森林の保全整備面積（毎年）	２，０６６ha	４，０００ha
	農地の保全整備面積（毎年）	８９８ha	９００ha
	三河山間地域の人口	**９３，３５５人 ○**	９５，１０５人
柱２ 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成	**外部人材の交流支援数（累計）**	**２４件 ◎**	１５件
	移住者数（累計）	**９１６人 ○**	１，０００人
	移住相談者数	３４９件	５００件
	地域協働を行う県立高校数	**２校 ○**	２校
柱３ なりわいを育てる	**就業支援者数（累計）**	**５３人 ◎**	５０人
	新規就農者数（累計）	４６人	８５人
	新規林業就業者数（累計）	**１５９人 ○**	２００人
	サテライトオフィス整備支援数（累計）	**９施設 ◎**	９施設
柱４ 地域資源のさらなる磨き上げ	**観光レクリエーション利用者数**	**※ ６６７万人 ○**	６６０万人
	愛知産ジビエを活用した新商品数（累計）	**７商品 ◎**	５商品
	スポーツ大会数	**６大会 ○**	５大会
柱５ 新たなライフスタイルへの対応	**主なリモートワーク可能施設数（累計）**	**１５か所 ○**	１８か所
	リモートワーク実証実験数（累計）	**１２件 ◎**	９件
	空き家・空き地の調査件数（累計）	**３３０件 ◎**	３００件

3 あいち山村振興ビジョン２０２５の取組実績

各重点的取組事項ごとの主な取組実績

重点的取組事項	主な取組実績
柱１ 安全安心で持続可能な地域社会づくり	○ 市町村の**社会資本整備等**に対し、2021年度から**山間市町村振興資金貸付金**を貸付け（2021～2024年度合計104,700千円） ○ 地域における交通基盤を確保・維持するため、2021年度から**市町村の路線バス運行経費やバス車両の更新経費を支援**（2021～2024年度合計446,740千円） ○ 広域幹線道路ネットワークを一層強化するため、国道151号等の**道路整備を推進** ○ 森林・農地の多面的機能の維持・向上のため、森と緑づくり税等による**間伐等の森林整備**や、山村振興営農環境整備事業費補助金による**農業生産基盤の整備**を計画的に実施
柱２ 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成	○ 愛知県交流居住センターを通じて、外部人材を求める地域の事業者と地域外にいる**兼業・副業・プロボノ人材とのマッチングを支援** ○ **ふるさと回帰支援センター**（東京都有楽町）に2021年度から**本県専属の相談員を配置した移住相談窓口を設置**するとともに、イベントへの**ブース出展**や**セミナー**を開催 ○ **ＷＥＢサイト「あいちの山里時間」を**2021年度に**開設**して三河山間地域の魅力を**情報発信**するとともに、各種ＳＮＳにおいて**インフルエンサーによる情報発信**を実施 ○ **田口高校、新城有教館高校作手校舎と設楽・津具・豊根・東栄・作手中学校**との間で**故郷への愛情と誇りを育むふるさと交流活動**（お仕事フェア、芸術展覧会交流）を実施
柱３ なりわいを育てる	○ 「三河の山里サポートデスク」（新城市）を拠点として、起業等により地域課題解決に挑戦する**あいちの山里アントレワーク実践者を募集**し、採用された実践者に**起業プランの実現に向けた支援**を実施 ○ 農業と他の仕事を組み合わせた働き方である**半農半Ｘ**について、2022年度から**相談会、セミナー**及び**志望者を対象とした現地見学会**・市町村等を交えた意見交換会を開催 ○ 愛知県林業労働力確保支援センター等と連携した**就業相談活動や研修事業等**を実施したほか、意欲と能力のある**林業経営体の育成、新規就業者への支援**を実施
柱４ 地域資源のさらなる磨き上げ	○ **奥三河の「多彩な美」**に関する魅力創造・発信のため、2022年度から**県内３カ所でプロモーションイベント**を実施したほか、2023年度は奥三河地域の滞在促進に向け、**東京都、大阪府を含めた４か所で観光ＰＲ**を実施
柱５ 新たなライフスタイルへの対応	○ 三河山間地域のワーケーション等を先導的に推進するため、2021年度に奥三河総合センターにおいて必要な環境を整備した上で実証実験を行い、**2022年度に実証ツアー、2023年度にモニターツアー**を実施。**市町村や民間事業者と結果を共有**してワーケーション等を促進

4 現行ビジョン策定後の変化

現行ビジョン策定後の変化

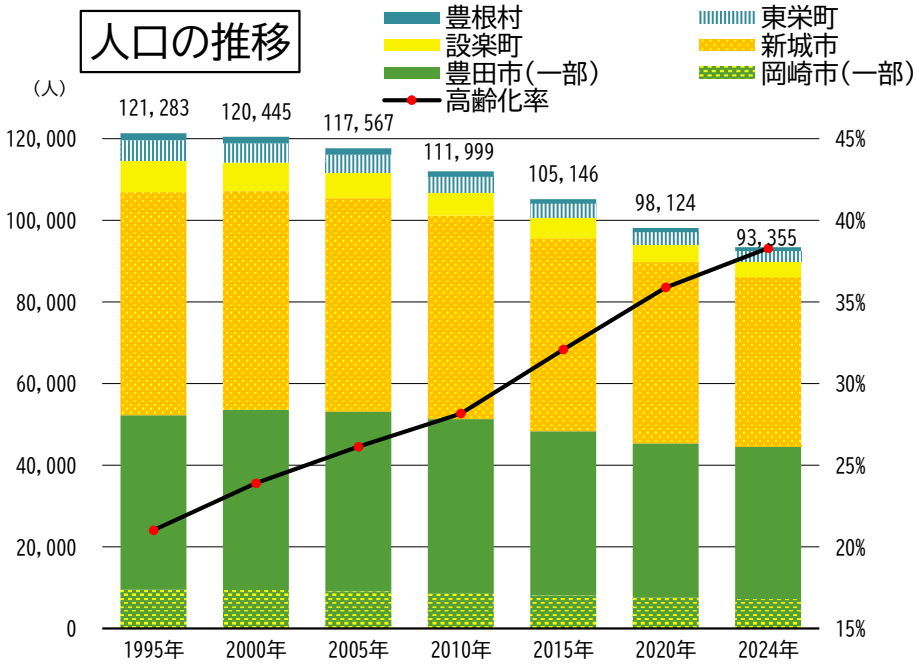
○　三河山間地域を取り巻く環境には、人口減少の加速など地域経営をより一層困難にする変化がある一方で、山村地域の魅力の再認識や新たな価値の創造など地域の活性化につながる変化も生じている。

(1) 人口減少の加速・少子高齢化の進展

- 労働力不足・後継者不足・地域の担い手不足が進行
- 買物、医療、福祉、交通等の日常生活に不可欠なサービスの維持が困難な地域の増加

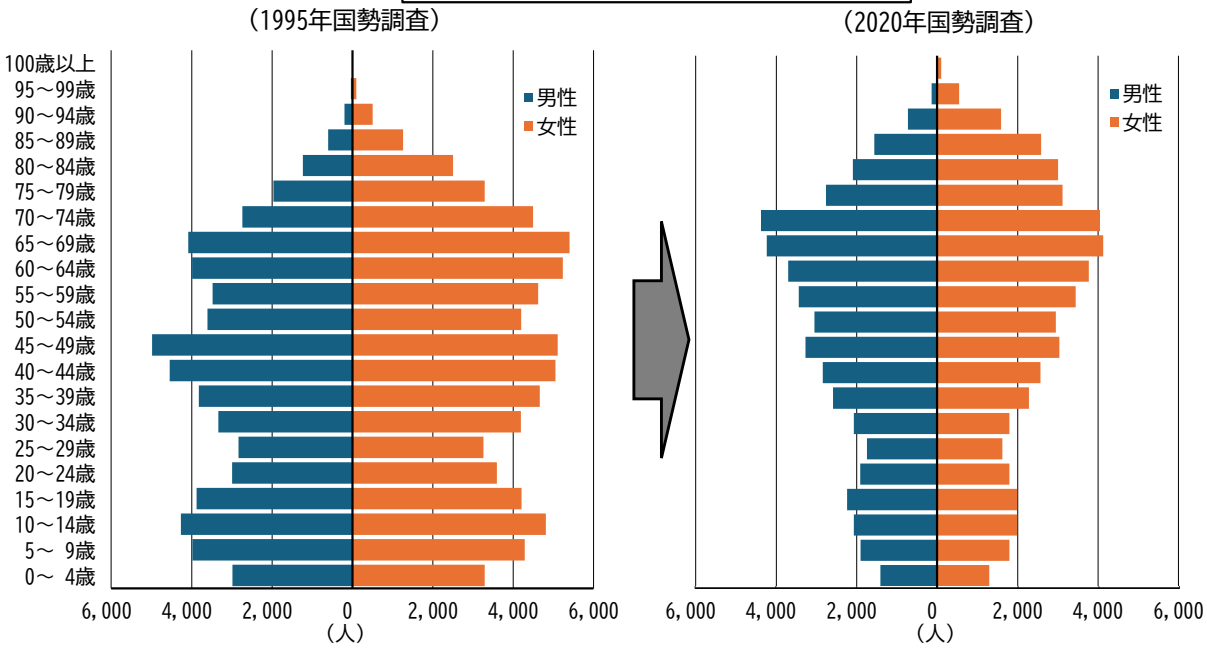
⇒　働く場を創出・確保することにより、若者の地域への定着を図る必要がある。
　　人口減少下でも、人口減少に適応した地域社会を機能させる必要がある。

人口の推移



出典：総務省「国勢調査」
※岡崎市は額田地区、豊田市は旭、稲武、下山、小原、足助、藤岡地区が対象
※2024年については、岡崎市及び豊田市は住民基本台帳人口（10月１日時点）、新城市及び北設楽郡は「あいちの人口（年報）」

男女別・年齢５歳階級別人口



４ 現行ビジョン策定後の変化

（2）厳しい行財政状況や災害リスクの高まり

・　行政ニーズの複雑化・多様化による専門人材の不足、インフラの老朽化
・　気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化

⇒　引き続き**持続可能な行財政基盤の確立**や**災害対応力の強化に向けた取組を継続**する必要がある。

（3）山村地域の魅力の再認識・新たな価値の創造

・　都市部の住民や企業が山村地域の魅力（豊かな自然・田畑・山林・文化・暮らし等）を再認識し、魅力を体感するために訪問・移住する機運や、地域課題を解決するために支援を行う機運の高まり
・　山村地域における新たな価値の創造（森林クレジット、カーボンニュートラル、ウェルビーイング等）

⇒　**地域のポテンシャルを最大限活用**し、**交流･関係人口の拡大や移住を促進する**必要がある。
企業等による社会貢献活動を**三河山間地域に呼び込む**必要がある。

（4）各種プロジェクトによる地域の活性化

・　東三河森林ルネッサンスプロジェクトや矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト等の進展
・　トヨタテクニカルセンター下山の開設やアジア・アジアパラ競技大会等のスポーツ大会の開催
・　三遠南信自動車道を始めとする大規模道路ネットワークや設楽ダムの整備

⇒　**各種プロジェクトによる新たな経済・社会活動**を**地域の発展につなげる**必要がある。

（5）ＤＸ・デジタル化やイノベーションの加速

・　新技術の活用による地域の課題解決の可能性
・　アフターコロナにおける新たなライフスタイル（リモートワーク、ＳＮＳによる情報発信等）の定着

⇒　**加速するＤＸ・デジタル化やイノベーションの流れ**を**三河山間地域に呼び込む**必要がある。

5 次期ビジョンの骨格イメージ

名称 あいち山村振興ビジョン２０３０（仮称）　**計画期間** 2026～2030年度（５年間）

基本目標

将来にわたって活力あふれ、輝き続けるあいちの山里の実現

○　三河山間地域は、水源のかん養や自然災害の防止等の機能に加え、近年は、**森林資源を活用した森林クレジットやカーボンニュートラルの推進、豊かな自然環境によるウェルビーイングの向上等への関心が高まり、新たな価値が創造**されている。**三河山間地域は愛知県民全体にとって重要な役割**を持ち、**その地域資源は県民全体にとっての貴重な財産**である。

○　しかしながら、この地域の人口減少・少子高齢化は一層加速しており、今後は担い手不足等により社会経済活動が維持できなくなることが危惧される。

○　このため、**働く場の創出・確保による若者の地域への定着や、地域のポテンシャルを活用した交流・関係人口の創出を図ることにより社会経済活動の担い手を確保**するとともに、**加速するＤＸ・デジタル化やイノベーションの流れを地域に呼び込む**ことにより、**限られた担い手でも機能する地域社会を構築していく。**

○　加えて、設楽ダムを始めとした**ビッグプロジェクトによる新たな経済・社会活動を地域の発展につなげていく。**

○　こうした取組により、**人口減少に適応**し、**地域の社会経済活動を維持することで、将来にわたって活力あふれ、輝き続ける**あいちの山里を実現する。

取組の視点

①多様な主体との共創 【コ･クリエイション】	②新しい技術やアイデアの 積極的活用 【イノベーション】	③環境変化への適応力強化 【レジリエンス】
関係人口に加え、**地域外の民間企業・大学・各種団体等との連携を拡大**し、**地域の内外の多様な主体が、それぞれが持つ資源**（人員・人材・技術・資金等）**を適切に組み合わせる**ことにより、**この地域の課題を解決していく**ことを目指す。	**新しい技術やアイデアを、これまで以上に積極的に活用**することで、社会経済活動に変革をもたらし、**地域の活力を高める**ことを目指す。	人口減少・少子高齢化や市町村の厳しい行財政状況、災害対応リスクの高まりなど、**様々な環境の変化に対する適応力を高め、持続可能な地域社会を確立していく**ことを目指す。

5 次期ビジョンの骨格イメージ

現行ビジョンと次期ビジョンの柱の比較

【現行ビジョン策定後の変化】
(1)人口減少の加速・少子高齢化の進展
(2)厳しい行財政状況や災害リスクの高まり
(3)山村地域の魅力の再認識・新たな価値の創造
(4)各種プロジェクトによる地域の活性化
(5)DX・デジタル化やイノベーションの加速

	あいち山村振興ビジョン2025	次期あいち山村振興ビジョン
基本目標	環境変化に柔軟に対応する元気で豊かなあいちの山里 ～安全安心な生活と活力の維持向上～	将来にわたって活力あふれ、輝き続けるあいちの山里の実現
柱1	安全安心で持続可能な地域社会づくり	持続可能な地域をつくる
柱2	関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成	人口減少のペースを緩める
柱3	なりわいを育てる	地域の賑わいをつくる
柱4	地域資源のさらなる磨き上げ	地域の人々の生活を守る
柱5	新たなライフスタイルへの対応	多面的機能を持つ森林・農地を守る

【取組の視点】
①多様な主体との共創
　【コ・クリエイション】
②新しい技術やアイデアの積極的活用
　【イノベーション】
③環境変化への適応力強化
　【レジリエンス】

5 次期ビジョンの骨格イメージ

あいちの山里＆離島

重点的取組事項（５つの取組の柱）

「主な取組（例）」は、現在考えられる新たな取組や現状の取組の継続などを記載しており、具体的な内容は今後検討・議論する。

柱１　持続可能な地域をつくる

取組の方向

○　**社会経済活動の担い手を確保**するため、**関係人口を呼び込む**とともに、地域づくりに主体的に関わる**「活動人口」の創出・拡大**を図る。

○　**加速するＤＸ･デジタル化やイノベーションの流れを地域に呼び込む**ことにより、**限られた担い手で機能する地域社会を構築**する。

主な取組（例）

・企業による社会貢献活動や、大学等による地域課題の解決に向けたフィールドワークの受入促進
・地域活動の担い手発掘・育成支援
・県立高等学校と地域の連携推進
・企業･大学等と連携した新技術の実証・実装に向けた取組の推進
・デジタル技術を活用した持続可能な行政運営の推進　　等

柱２　人口減少のペースを緩める

取組の方向

○　**働く場を創出・確保**することにより、**若者の地域への定着を図る。**

○　**地域への移住・定住を更に促進**する。

○　**就業支援を充実**することにより、**農林水産業の就業者を確保**する。

主な取組（例）

・地域産業の活性化に向けた事業創出・継続支援
・起業実践者を支援する仕組みの導入
・空き家活用広域マッチングプラットフォーム窓口や「愛知県移住･定住ポータルサイト」を活用した移住・定住の更なる促進
・就業支援プラットフォームを活用した農林水産業の担い手確保・育成

等

5 次期ビジョンの骨格イメージ

あいちの山里＆離島

柱３　地域の賑わいをつくる

取組の方向

○　豊かな自然環境や暮らし、文化等の魅力を最大限活用し、**交流人口を拡大**する。
○　**森林の新たな価値を活用**することにより、**地域の稼ぐ力を高める**。
○　**各種プロジェクトを地域の発展**につなげる。

主な取組（例）

・都市部と三河山間地域の二地域居住の促進
・各種スポーツ大会を契機とした交流の拡大
・東三河森林ルネッサンスプロジェクトによる森林クレジット導入拡大や森林サービス産業創出の推進
・矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクトの推進　等

柱４　地域の人々の生活を守る

取組の方向

○　**将来にわたって安全安心に暮らせる地域社会を維持**する。
○　**公共交通**や**交通基盤、情報通信基盤、教育環境、医療等を確保**する。

主な取組（例）

・市町村の行財政運営や災害対応への支援
・地域の実情にあった公共交通の維持・確保に向けた支援
・広域交通基盤の整備・強化
・子育て支援や地域医療の充実・確保
・高等学校の魅力化を始めとした教育環境の整備　等

柱５　多面的機能を持つ森林・農地を守る

取組の方向

○　**森林・農地等の保全・整備**等を推進する。
○　**自然環境・生物多様性の保全**等を推進する。

主な取組（例）

・森林環境譲与税やあいち森と緑づくり税を活用した森林整備の推進
・地域の特性を活かした農林水産業の振興
・自然環境の保全活動や環境学習に対する支援　等